

国からの重点支援地方交付金 5億円で小中学校給食費無償化を

財政状況について

財政難脱却のための方策について。

副市長 毎年度の予算編成において多額の財源不足額が生じていることから、引き続き一般財源等の歳入確保と、事業の選択と集中による歳出の抑制により、効果的・効率的な行財政運営に努めていく。

指定ごみ袋の有料について

市指定ごみ袋の導入による経済的負担について。

経済環境部長 一般家庭への経済的負担については、年間で計算すると100円から500円程度の負担増となるが、プラスチック資源の分別をすることで、可燃ごみの量は大きく減ることが予想され、負担も軽減する見込みである。

新設統合校建設に係る予備費の支出について

予備費の充用について。

市長 新設校の建設費が過大であるとの懸念を払拭するため、予備費を充用して、設計変更により体育館の建設を削除し、約7億円の事業費の圧縮を図った修正案を9月議会に提出させていただいた。
結果は残念なものとなったが、今後も、保護者



鈴木 良雄
(すずき よしお)



録画映像
はこちら

小中学校給食費の無償化について

や地域の方からの建設を望む要望書などの直接の声を大切にしていきたい。

小中学校給食費完全無償化の令和8年度当初予算への計上予定について。

教育部長 現在、国において、小学校給食費の無償化について検討が実施されているとの報道がなされているが、国から文

書等による情報提供がない状況であり、現時点においては、給食費無償化の予算計上を見合わせている。

中学校の給食費無償化に係る予算については、7年11月を基準にすると、約6千3百万円の予算が必要となると推測できる。

